

2008 年度

科目名  マスコミ論	対象学科・学年  教育教福2回生	担当者  小川 丈治
授業テーマ 映像の見方・描き方〔前期〕／ 映像作品の可能性〔後期〕		
授業の概要と目標 「マスコミ論」は新聞、雑誌、放送、映画などのメディア（Media=媒体）を通じて、大量の情報を不特定多数の人々に伝える行為(Mass Communication=マスコミュニケーション、略してマスコミ)を論じる学問です。この情報を表現する手段は、以前は言語が主でしたが、最近では映像に比重がかかっています。学校では言語（日本語、外国語）の勉強はしてきましたが、映像の見方や描き方の勉強はなおざりです。これではいけません。講義では映像に焦点を当て、映像教材を多用して説明します。		
評価方法 採点は学年末のレポート内容70点、出席日数30点で計算します。		
テキスト 指定しません。毎回プリントを配付します。	著者	出版社
参考書 講義のたびに紹介します。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 <div> <div> 〔前期〕 序・講師の自画像(VIDEO) (講師は元 TV ディレクター) </div> <div> 第13講 米国の政治とTV映像 第14講 映像との付き合い方 </div> </div> <div> <div> &lt;映像の歴史&gt; 第1講 現代の代表的マスコミ 「新聞と放送」概観 第2講 映像の時代の意味 第3講 歴史－絵画から写真へ 第4講 歴史－動く映像の発明 第5講 歴史－初期の映画 第6講 映像認知の仕組み 第7講 脳の中の映像と言語 第8講 映像と言語の比較 第9講 映像表現法①（撮影） 第10講 映像表現法②（編集） 第11講 ナチスと映画 第12講 嘘つき映像の歴史 </div> <div> 〔後期〕 &lt;映像作品の制作現場&gt; 第1講 アメリカの映画制作 第2講 コマーシャルの制作現場 &lt;虚構としての映画の可能性&gt; 第3講 アニメの歴史概観 第4講 アニメ作品を観る 第5講 「もののけ姫」 第6講 アニメの制作現場 第7講 （ドキュメント①） 第8講 アニメの制作現場 第9講 （ドキュメント②） 第10講 アニメの制作現場 （ドキュメント③） 第11講 CG表現の可能性① 第12講 「アイ,ロボット」 第13講 CG表現の可能性② 第14講 「ジュラシックパーク」 第15講 講義のまとめ </div> </div>		